

世界かんがい施設遺産

# じゅっこくぼり 十石堀

[茨城県・北茨城市]

## Jukkoku-bori Irrigation System

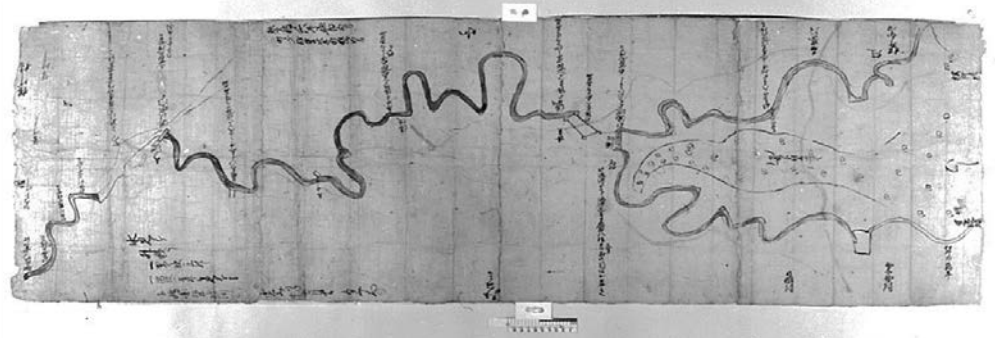
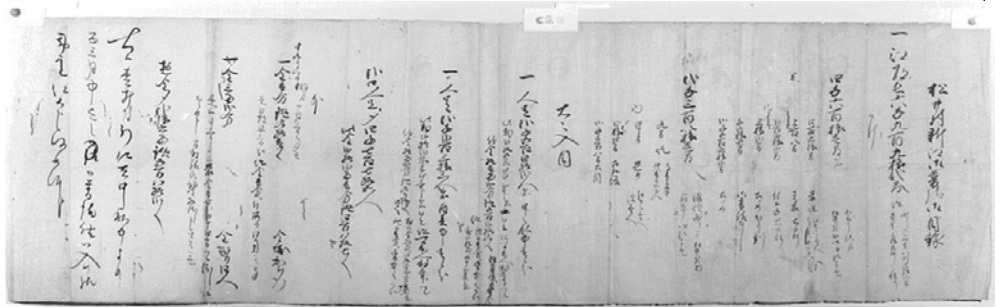
農民自らの発意・計画、  
自然地形の巧みな利用による持続可能な用水路



■ 台地上の本地域は慢性的な水不足であった。1669年、沼田主計を中心として、農民自らが発意・計画し、約13kmの用水路をわずか半年間で建設。

■ 水源開発のため、集水域の異なる2つの沢を繋ぐ導水路として造られた「掘割」は、「金掘」（鉱山技術者）の卓越した技術によって、開削された。

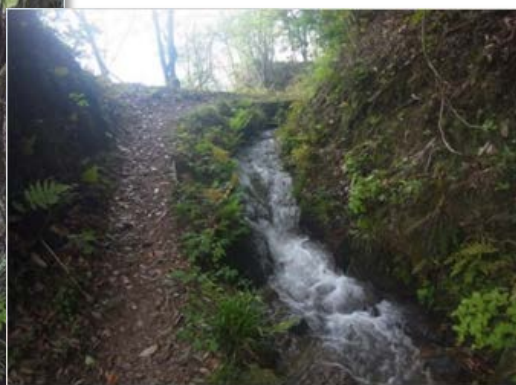
■ 沢地形や花崗岩の自然地形を生かし、耐久性に優れ、効率的な維持管理を実現するとともに、農民自らが資材を調達し、建設費用を大幅に縮減。



当時の建造記録（上）と絵図（下）



金掘が掘削した「掘割」



自然の地形（花崗岩）  
を活かした減勢工



地域住民による維持管理の記録

問い合わせ先 十石堀維持管理協議会  
事務局（北茨城市農林水産課内） TEL. 0293-43-1111（内線387）